

## 令和4年度第11回理事会議事録

1. 日時：令和5年2月14日（火）  
第11回理事会 午後6時30分～午後7時45分

会場：Web会議

出席者：中川理事長、芳本副理事長、井阪理事、射場理事、村西理事、千葉監事、  
大井局長、辻畑局長、田箆局長、大槻局長

書記：総務部：中平、神杉

### 【議題】

#### I. 令和4年度第11回理事会議題

##### 1. 承認事項

- 1) 令和4年度第10回理事会議事録  
資料参照の上、承認された。

##### 2. 報告事項

###### 2) 各局事業進捗報告

各局長より報告があった。

①大井局長より、総務部および財務部の事業報告があった。次年度予算案作成、センター各部財務処理が進行していることの報告があった。

②辻畑局長より、広報部、ニュース編集部の事業報告があった。府士会ニュース296号の原稿の取りまとめ、シンカネットとのCMSについての検討などの報告があった。

③大槻局長より、学術大会部、臨床実習部、研修理学教育部の事業報告があった。学術大会用ロードマップとマニュアルの作成作業が進行中、304研修会（1月27日）が開催され、18名の参加があり事例検討の内容で好評を得たこと、次年度の計画として前期・後期研修のスケジュールを調整中であることの報告があった。南支部の新人症例発表会の発表者数が少ない現状について、支部よりアンケートを実施したいとの意見が出ているとのことであったが、支部レベルではなくセンターや府士会に上申することが必要であることの確認がなされた。

④田箆局長より、研修部、受託研修部、学術誌編集部の事業報告があった。研修部では、研修会が4回開催されたこと、次年度のセンター主催研修会講師と調整中であること、受託研修部では、理学療法士講習会の実施（18件/18件中）、次年度事業計画が3月末締めで日本理学療法士協会へ提出予定であること、学術誌編集部では、「総合理学療法学」第3巻の受付12件（査読・審査・修正中6件、受理3件、掲載不可3件）、早期公開1件、メディカルオンライン掲載（2/6）などの報告があった。

⑤中川理事長より、第62回近畿理学療法学会について報告があった。参加者数1405名（内近畿会員806名）、現地参加者350名、演題数131題（採択率95.6%）

##### 3. 審議事項

###### 1) 「STORES」との決済システム契約について

辻畑局長より資料の通り説明があった。「STORES」センターアカウントにセンターの口座・クレジットカードの紐付けを行うことについて、その利用範囲、メリット、デメリットの

説明があった。デジタルコンテンツの使用方法、領収証の発行などの点について等の詳細説明があった。またデメリットに挙げられている QR コードは現在使用していない為、影響は無いことが確認された。審議の結果、承認となった。

2) 【継続審議】 R 5 年度事業予算について

井阪理事より資料の通り説明があった。第 10 回理事会提出案からの修正点として、臨床実習教育部会議費は 304・305 事業合わせて会議回数を 7 回から 4 回へ変更し 24,000 円削減、学術大会部 102 事業の旅費交通費 6 名体制を 5 名へ変更し 1,000 円削減、研修理学療法教育部市区町村士会支援金  $100,000 \text{ 円} \times 4 \text{ 支部} = 400,000 \text{ 円}$ 削減、会議回数 12 回開催を 10 回へ変更し 42,000 円削減となることが説明された。審議の結果、承認となった。

3) 【継続審議】 講師バンクに登録された講師および評価者への謝礼について

射場理事より資料の通り説明があった。令和 5 年度後期研修 C 士会オリジナル研修について、評価者の役割、シラバスの内容、評価の流れについて詳細報告があった。シラバスの記載内容のフォーマット（記載内容の要点提示）を作成する必要がある等の意見があった。審議の結果、承認となった。

4) 令和 5 年度生涯学習研修集会の講師変更について

村西理事より 資料の通り説明があった。令和 5 年度生涯学習研修集会の講師について、建内宏重先生から村木孝行先生に変更、山本澄子先生から畠中泰彦先生に変更となることの説明があった。審議の結果、承認となった。

5) 令和 5 年度生涯学習研修集会予算案について

田箆局長より、テーマと講師案について説明があった。開催方法は現地とオンラインのハイブリット開催とし、講演はオンライン形式、ハンズオンをオンラインと現地のハイブリッド形式とすること、参加者は 600 名（オンライン 500 名、現地 100 名）を見込んでいくこと、参加費は現地 5000 円、オンライン 3 時間（1 講演）2000 円、但し 3 講演以上は上限 5000 円とすること等が説明された。参加費の金額設定及び各講演の開催形式について狙いが定まらない点があるため改めて検討しなおし審議 ML で審議することとなった。

以上

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	芳本康司	職名	
議題	「STORES」センターアカウントにセンターの口座・クレジットカードの紐付けを行うことに承認をいただきたい		
内容及び提出趣旨	<p>令和4年11月理事会で承認いただきましたECサイト（決済システム）について「STORES」の利用承認をいただいた。</p> <p>令和5年4月運行開始に向け、「STORES」センターアカウントにセンターの口座・クレジットカードの紐付けを行うことに承認をいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「STORES」利用範囲：センター主催のイベントに限定</li> <li>・メリット：クレジットカード決済完了時に電子チケット等のメールが自動送信されるなど、準備委員の手間が省ける。決済手数料5%</li> <li>・デメリット→視聴証明に協会システムのQRコードが使えない。</li> </ul>		
理事会での意見・内容等	またデメリットに挙がっている QR コードは現在使用していない為、影響は無いことが確認された。		
審議結果	審議の結果、承認となった。		
	対応部局または理事氏名		
備考			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	事務局担当理事
議題	【継続審議】令和5年度事業予算について		
内容及び提出趣旨	<p>前回の第10回理事会にて事務局案を提示しましたが、各部の事業予算のうち臨床実習教育部、4支部支援金について申請のあった予算額を調整したため教育局に再度予算検討いただいた。本事業予算は、その予算検討後の事業予算となっております。</p> <p>ご審議のほどよろしくお願い致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床実習教育部：会議費 304・305事業合わせて、会議回数を7回⇒4回へ24,000円削減</li> <li>学術大会部：102事業の旅費交通費6名体制⇒5名へ1,000円削減・研修理学療法教育部：市区町村士会支援金100,000円×4支部=400,000円削減、会議回数12回開催を10回へ42,000円削減</li> </ul> <p style="text-align: center;">資料:有 R5年度事業収支予算、R5年度事業予算一覧</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	審議の結果、承認となった。		
備考	対応部局または理事氏名 井阪 美智子		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【継続審議】

提出者	射場一寛	職名	教育局 理事
議題	次年度の後期研修 C領域別研修（座学）士会オリジナル研修における講師、評価者への謝金および、評価の流れについて		
内容及び提出趣旨	<p>第10回理事会にて、次年度の後期研修 C領域別研修（座学）士会オリジナル研修の開催にあたり、講師および評価者への謝金については概ね承認されました。今回、評価者が評価する対象者数、内容についてご審議いただきたく存じます。よろしくお願いたします。</p> <p>令和5年度 後期研修 C 士会オリジナル研修 概要                      領域：4領域（神経、運動器、内部、病期）をそれぞれ4回開催（計：16回）                      開催形式：オンライン                      講師：講師バンクへ登録された方（16名/18名中）                      評価者：認定・専門理学療法士（4名/1領域につき1名）                      講師：5,000円+568円                      評価者：3,000円+341円</p> <p>評価者の役割                      ① 講師へシラバスの提示                      ② 講義資料のチェックし、評価・コメントをする</p> <p>評価の流れ                      ① 評価者には事前に講義のシラバスを作成していただく。                      ・key word（後期研修受講者に伝えておかないといけないもの）                      ・目標（受講者の到達目標）                      ・内容                      ② 講師にシラバスを伝え、シラバス内容を踏まえて講義資料を作成してもらう                      ③ 完成した講義資料を評価者へお渡しし、評価・コメントをいただく。                      ④ 必要であれば、アフターフォローをしていただく。                      ⑤ 当日のプレゼンテーションの聴講は必須ではない。</p> <p>添付資料：後期研修 C 士会オリジナル研修シラバス案.xlsx</p>		
理事会での意見・内容等	シラバスの記載内容のフォーマット（記載内容の要点提示）を作成する必要がある等の意見があった。		
審議結果	審議の結果、承認となった。		
	対応部局または理事氏名 射場 一寛		
備考			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	村西 壽祥	職名	生涯学習局理事
議題	令和5年度生涯学習研修集会の講師変更について		
内容及び提出趣旨	<p>(提出趣旨) 令和5年度生涯学習研修集会における予定講師2名について、変更案を提出しますので、ご審議いただきたい。</p> <p>変更理由 建内宏重先生：運動器理学療法学会と日程が近い 山本澄子先生：協会員でないため</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	審議の結果、承認となった。		
備考	対応部局または理事氏名 村西 壽祥		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	村西 壽祥	職名	生涯学習局理事
議題	令和5年度生涯学習研修集会予算案について		
内容及び提出趣旨	<p>(提出趣旨) 令和5年度生涯学習研修集会予算案を作成しましたので、ご審議いただきたい。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
理事会での意見・内容等	参加費の金額設定及び各講演の開催形式について狙いが定まらない点があるとの意見があった。		
審議結果	審議 ML で審議することとなった。		
備考	対応部局または理事氏名 田 篤慶一		